

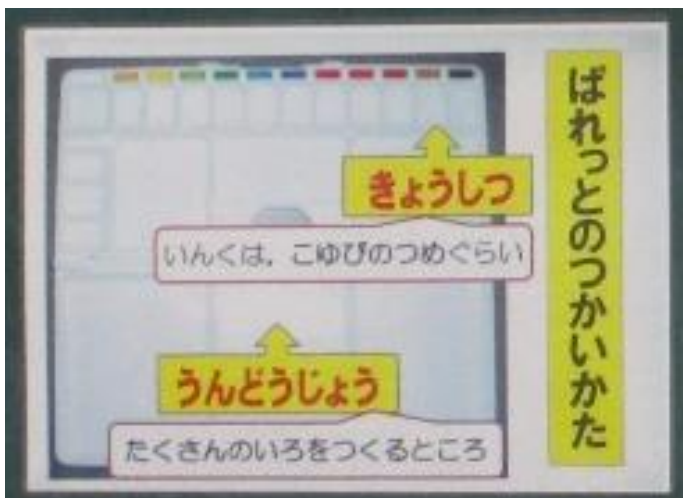
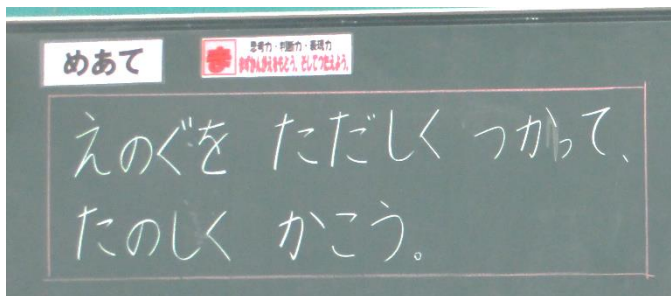
授業における支援や指導について紹介します。

1 「絵の具道具の使い方」(1年)

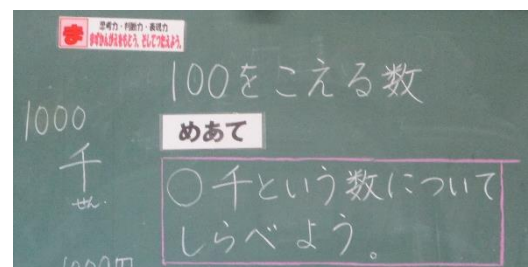
視覚化・共有化



絵の具道具の名前やそれぞれの場所の役割などを掲示して、
児童がイメージしやすいみんな言葉で共有化する。



めあての横に「ま 思考力・判断力・表現力」のカードを貼り
児童と付けたい力を共有化する。



資質・能力カード「まみむめもん」を貼って、
授業のねらい（評価）を明確にしましょう。



2 「ひきざん ～ちがいはいくつ～」(1年)

動作化・操作化



大事な数量や言葉に印を付ける。

ちがいはいくつかを動作化して、ブロックを操作させる。

ひきざん

しき $5-3=2$

★ どちらが
おおいか

★ ちがいは
いくつ

① オレシンのリボンをつけている
カエルが 5 ひきいます。

② あおいぼうしをかぶった
カエルが 3 ひきいます。

③ どちの カエル が なん ひき
あおい ですか。



ちがいはいくつ。
(ちがいを右側に
動かす)



ブロックの違いを手でわかる。

3 「100をこえる数」(2年)

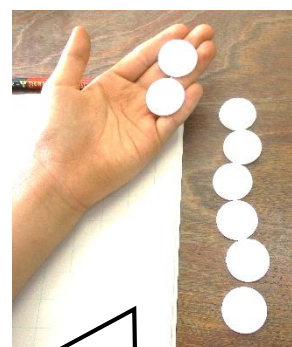
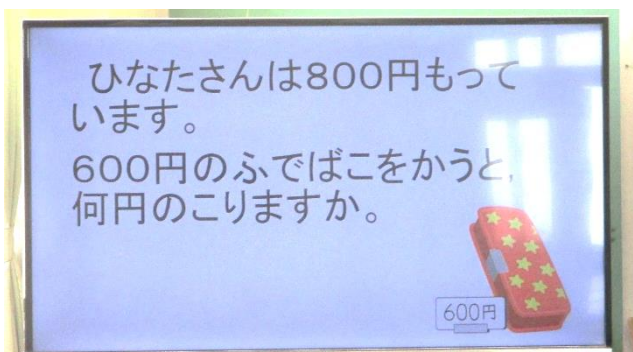
視覚化・操作化



100円玉の模型を使って、100がいくつ分かで考えて計算する。



文章から大事な数量を確かめた後、100円玉の模型を使って
引き算になることを操作させて確かめる。



800円持っていて600円のふでばこを買います。

600円はらうので600円へります。 ★ 言葉から場面をイメージさせる。

だから $800 - 600 = 200$ で答え200円です。